

1. 調査の目的

市民の生活実態や生活環境に関する意識、市政に対する要望など、多様化する市民ニーズを把握して、今後の市政運営の基礎資料を得ようとするものである。

2. 調査項目

- | | |
|------------------------|--------------------|
| (1) 市に対する全体評価 | (6) 男女の役割・考え方 |
| (2) 生活環境評価 | (7) 市の行財政改革に対する考え方 |
| (3) 市の将来像 | (8) 広域的なまちづくり |
| (4) 文化に対するイメージ・要望 | (9) フェースシート |
| (5) 公園の現状・公園でのボランティア活動 | (10) 市への意見、要望 |

3. 調査設計

- | | |
|----------|--|
| (1) 調査地域 | 加古川市全域 |
| (2) 調査対象 | 平成13年6月1日現在、住民基本台帳登載者及び外国人登録者で満20歳以上の人 |
| (3) 標本数 | 5,000サンプル |
| (4) 抽出方法 | 無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送配付および郵送回収法 |
| (6) 調査期間 | 平成13年7月5日(木)～7月19日(木) |

4. 回収結果

- | | |
|------------------------------------|-------|
| (1) 発送数 | 5,000 |
| (2) 実質発送数(発送数 - 返戻数) | 4,967 |
| (3) 有効回収数(回収した調査票から、記入のない調査票を除いた数) | 1,819 |
| (4) 有効回収率(有効回収数 ÷ 実質発送数 × 100) | 36.6% |

【表1 居住地区別回収状況（人口は20歳以上）】

	人口	発送数	返戻数	実質発送数	有効回収数	有効回収率(%)
合計	208,290	5,000	33	4,967	1,819	36.6
加古川町	42,797	1,028	7	1,021	369	36.1
神野町	6,683	157	-	157	57	36.3
新神野	4,273	99	-	99	45	45.5
西条山手	769	17	-	17	8	47.1
山手	2,943	72	-	72	25	34.7
野口町	28,032	675	10	665	228	34.3
平岡町	39,406	949	1	948	351	37.0
尾上町	21,688	514	7	507	183	36.1
別府町	13,404	324	2	322	101	31.4
八幡町	3,707	90	-	90	34	37.8
平荘町	4,405	108	-	108	35	32.4
上荘町	4,852	117	-	117	39	33.3
東神吉町	11,994	291	1	290	119	41.0
西神吉町	7,779	186	2	184	71	38.6
米田町	4,826	113	2	111	58	52.3
志方町	10,732	260	1	259	89	34.4
地区不明	-	-	-	-	7	-

生活圈構成図



【表2 年齢別回収状況（人口は20歳以上）】

	人口	発送数	返戻数	実質発送数	有効回収数	有効回収率(%)
合計	208,290	5,000	33	4,967	1,819	36.6
20歳代	40,590	971	1	970	227	23.4
30歳代	36,985	891	11	880	293	33.3
40歳代	34,172	813	10	803	293	36.5
50歳代	43,702	1,047	8	1,039	435	41.9
60歳代	28,664	665	3	662	329	49.7
70歳以上	24,177	613	-	613	237	38.7
年齢不明	-	-	-	-	5	-

5. 報告書の見方

(1) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出した。従って、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。

なお、本文中、表やグラフに次にあげるような表示がある場合、複数回答を依頼した質問である。

- ・ M A % (Multiple Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
- ・ 2 L A % (2 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合
- ・ 3 L A % (3 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- ・ 5 L A % (5 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを5つ以内で選択する場合

(2) グラフ中の各項目横に記入された()内の数値は、その項目における回答者数を表している。

(3) 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。

(4) 図表として示した分析の軸には、「無回答」を省いた。

(5) 回答選択肢は図表及び文章中において簡略化した。

6. 調査の精度

この調査は標本調査であり、今回得られた分析結果から加古川市全体としての意見を推定することができる。この場合、標本誤差は次の式により近似値を求めることができる。(ただし、信頼度95%とする)

$$E = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \cdot \frac{P(1 - P)}{n}}$$

E = 標本誤差

N = 母集団数(20歳以上の市民 208,290人)

n = 基数(1,819人)

P = 回答比率(%)

たとえば、回答者数(1,819人)を100%とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であったとすると、母集団(20歳以上の市民全体)における回答比率は、47.7~52.3%の間であると推定される。表3-1から3-3までは、それぞれ年齢別、居住地区別、性別の標本誤差をまとめたものである。なお、信頼度95%というのは、同じ方法で100回調査を実施すれば、95回は母集団の真

の値から、上式で求められた誤差の範囲内に入るとのことである。

【表3 - 1 標本誤差 (E) 早見表 (年齢別)】

回答比率 基数	10% または 90%	20% または 80%	30% または 70%	40% または 60%	50%
全 体 (1819)	±1.4%	±1.8%	±2.1%	±2.2%	±2.3%
20 歳 代 (227)	±3.9%	±5.2%	±6.0%	±6.4%	±6.5%
30 歳 代 (293)	±3.4%	±4.6%	±5.2%	±5.6%	±5.7%
40 歳 代 (293)	±3.4%	±4.6%	±5.2%	±5.6%	±5.7%
50 歳 代 (435)	±2.8%	±3.8%	±4.3%	±4.6%	±4.7%
60 歳 代 (329)	±3.2%	±4.3%	±4.9%	±5.3%	±5.4%
70 歳 以 上 (237)	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.4%

【表3 - 2 標本誤差 (E) 早見表 (居住地区別)】

回答比率 基数	10% または 90%	20% または 80%	30% または 70%	40% または 60%	50%
全 体 (1819)	±1.4%	±1.8%	±2.1%	±2.2%	±2.3%
加 古 川 (369)	±3.1%	±4.1%	±4.7%	±5.0%	±5.1%
加古川北 (169)	±4.5%	±6.0%	±6.9%	±7.4%	±7.5%
野 口 (228)	±3.9%	±5.2%	±5.9%	±6.4%	±6.5%
平 岡 (351)	±3.1%	±4.2%	±4.8%	±5.1%	±5.2%
浜 の 宮 (284)	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
両 荘 (74)	±6.8%	±9.1%	±10.4%	±11.2%	±11.4%
加古川西 (248)	±3.7%	±5.0%	±5.7%	±6.1%	±6.2%
志 方 (89)	±6.2%	±8.3%	±9.5%	±10.2%	±10.4%

【表3 - 3 標本誤差 (E) 早見表 (性別)】

回答比率 基数	10% または 90%	20% または 80%	30% または 70%	40% または 60%	50%
全 体 (1819)	±1.4%	±1.8%	±2.1%	±2.2%	±2.3%
男 性 (750)	±2.1%	±2.9%	±3.3%	±3.5%	±3.6%
女 性 (1063)	±1.8%	±2.4%	±2.7%	±2.9%	±3.0%

